

(別記)

令和3年度市川三郷町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

市川三郷町は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約43%で、高収益作物としてはスイートコーン、なす等が主力となっている。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、農地所有適格法人や地域の担い手を主体として、非主食用や他の作物に作付転換を促進することで、現行の水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、耕作放棄地対策を行い、水稻作付面積を維持していくことが課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

市川三郷町は、非主食用米への取組を主体として、収益力強化に向けた産地づくりをしていく。特に、飼料用米については、県内の畜産事業者から引き続き高い需要があるため、その需要に応えるべく、今後も作付けを推進し、更なる取組面積の拡大を進める。併せて、地域担い手の所得向上を目指すため、多収品種の導入・飼料用米の密苗・疎植栽培など省力化技術の導入と農地集積による作業効率化を推進していく。

また、畜産農業者から需要のある稲わらの供給に取り組むことで、飼料用米生産の付加価値の向上を推進していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

市川三郷町は、畑地化支援の条件を満たす規模の農地集積ができないため、水稻とナスの輪作やスイートコーンとの二毛作による飼料用米作付の拡大を軸とした作物転換を主体として、水田としての機能を維持しつつ有効利用を図っていく。

ただし、今後地域・農業者等が希望する場合には、県が策定する「水田農業高収益化推進計画」に基づき、畑地化の取組を検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 備蓄米

現在取組は行っていないが、需要動向を早期把握し、必要であれば備蓄米の生産を推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を当町の戦略作物の一作物に位置づける。また、飼料用米の生産拡大にあたっては、国からの産地交付金を活用した多収品種の導入を検討するとともに、スイートコーンとの二毛作や畜産農家への稲わらの供給、省力化技術の導入により水田のフル活用を図り所得増加を図る。

イ 米粉用米

現在取組は行っていないが、需要動向を早期把握し、必要であれば米粉用米の生産を推進する。

ウ 新市場開拓用米

現在取組は行っていないが、非主食用米の販路拡大のため、県内実需者と需要動向を把握しつつ、必要であれば新市場開拓米の生産を推進する。

エ WCS 用稲

現在取組は行っていないが、需要動向を早期把握し、必要であればWCSの生産を推進する。

オ 加工用米

産地交付金を活用しつつ、地元の実需者（萬屋酒造等）との結びつきを強化し、安定的な生産の維持・拡大を図っていく。またスイートコーンとの二毛作作付による水田のフル活用を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

地域の実需者との契約や直売所などでの地産地消の取り組みを継続し、現行の栽培面積を維持する。

(5) そば、なたね

地域の実需者との契約や直売所などでの地産地消の取り組みを継続し、需要に応じた生産を推進する。

(6) 高収益作物

地域振興作物である「スイートコーン(基幹作・二毛作)」、および野菜指定産地の指定品目である「ナス」については、新品種の開発や環境に配慮した栽培、省力化に向けた技術の導入をすすめるとともに、収益性の高い経営体を育成するための技術の確立を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	108.8	108.0	105.0
備蓄米	0	0	0
飼料用米	8.9	9.6	10.6
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	1	1	1
麦	0	0.1	0.2
大豆	0	1.2	1.4
飼料作物	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
高収益作物	107.3	107.3	107.3
・野菜	41.6	41.6	41.6
・花き・花木	61.0	61.0	61.0
・果樹	1.0	1.0	1.0
・その他の高収益作物	3.7	3.7	3.7
その他			
・〇〇			
畑地化			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	なす	地域振興作物（野菜指定産地）の作付への上乗せ助成	作付面積の拡大を目指す	(R2年度) 0.8ha	(R3年度) 0.9ha (R5年度) 1.0ha
2	スイートコーン	加工用米又は飼料用米と地域振興作物（スイートコーン）の二毛作への助成	作付面積の拡大を目指す	(R2年度) 5.9ha	(R3年度) 6.5ha (R5年度) 7.0ha
3	加工用米、飼料用米（基幹作のみ対象）	転換作物拡大（加工用米・飼料用米）	作付面積拡大（加工用米） 作付面積拡大（飼料用米） 農業者の平均作付面積	(R2年度) 1.20ha (R2年度) 8.9ha (R2年度) 91a	(R3年度) 1.3ha (R5年度) 1.5ha (R3年度) 9.6ha (R5年度) 10.6ha (R3年度) 91a (R5年度) 91a

4	飼料用米（基幹作のみ対象）	省力化技術を導入した飼料用米生産への助成	飼料用米の作付面積 密苗・疎植栽培の普及率	(R2年度) 8.9ha 11.20%	(R3年度) 9.6ha 20.8% (R5年度) 10.6ha 48.5%
5	飼料用米（基幹作のみ対象）	畜産農家への稲わら供給の取組への助成	飼料用米の作付面積 飼料用稲わら生産する水稲作付面積の割合	(R2年度) 8.9ha 22%	(R3年度) 9.6ha 43.8% (R5年度) 10.6ha 44.3%